

NM装置(PET-CT) 清掃・消毒ガイド

「取扱説明書 (2B201-559JA*M) 」第5章 より、抜粋。

5.3 清掃および消毒

ご使用後は、製品本体、オプション機器、室内を清掃してください。
また、血液などが付着した場合は、この節に記載の内容に従い適切に処置してください。

⚠ 危険

この装置は防爆形ではないので、装置の近くで可燃性および爆発性の気体を絶対に使用しないでください。製品の内部に入った場合、火災や爆発を起こすおそれがあります。

- * 清掃や消毒の後、室内を十分に換気してから装置の電源を入れてください。

⚠ 警告

1. 保守点検を行われる場合は、安全を確認した上で行ってください。
 - * 清掃および消毒は装置の電源を切った状態で行ってください。電源が入っていると、スイッチに触れたときに装置が動きだし、けがをするおそれがあります。
2. 放射性線源を取り扱う際には、不必要な被ばくを防ぐため、次のことをお守りください。また、詳細については最寄りのサービスセンタにお問い合わせください。
 - * 国や地域等の法規で定められている場合には、定められた周期で放射線漏洩検査を実施してください。
 - * 放射性線源は定められた方法で保管し、必要な場合以外は放射性線源を保管場所から持ち出さないでください。
 - * 作業中は、作業員以外の立ち入りを禁止してください。
 - * 作業員は、防護衣や防護装置などを使用するなどして、不必要な被ばくがないように十分注意してください。
 - * 放射性線源を受け取ったときは、梱包材をすべて保管しておき、廃棄、輸送、供給元への返還時、それを使用して梱包してください。
 - * 放射性線源に放射能漏れが発見された場合は、国または地域の該当する法規に従い、修理や廃棄などの適切な処理を行ってください。
 - * 放射性線源を廃棄する際は、国または地域の法規に従い、適切な処理を行ってください。

- * 通常は分電盤／パワーディストリビュータを OFF にしないでください。

⚠ 注意

この装置は Spaulding の消毒水準分類上の消毒、滅菌を意図して設計されていません。

装置本体および付属品やオプション機器に血液が付着した場合など、消毒が必要なときには次の要領で処置してください。

消毒剤の取扱説明書をお読みにになり、使用上の注意および消毒剤の特性を確認した上、消毒の専門知識を有する方の指示に従って製品本体および付属品やオプション機器表面の消毒作業を行ってください。

注意

清掃、消毒する際は装置を傷つけたりしないよう注意してください。

また、消毒により製品に変化が表れた場合は、製品の使用を中止し、最寄りのサービスセンタに修理を依頼してください。

- * 製品の消毒は指定の消毒剤を使用し、それに定められた使用方法および使用頻度をお守りください。指定以外の消毒剤を使用したり長時間の消毒を行うことにより、外装に退色やひび割れが発生したり、ゴムやプラスチックが劣化する場合があります。
- * シンナやベンジンなどの溶剤や、コンパウンドなど研磨材を含む物を、製品清掃に使用しないでください。拭いた部分が白く曇ったり、キズが付くことがあります。

5.3.1 清掃

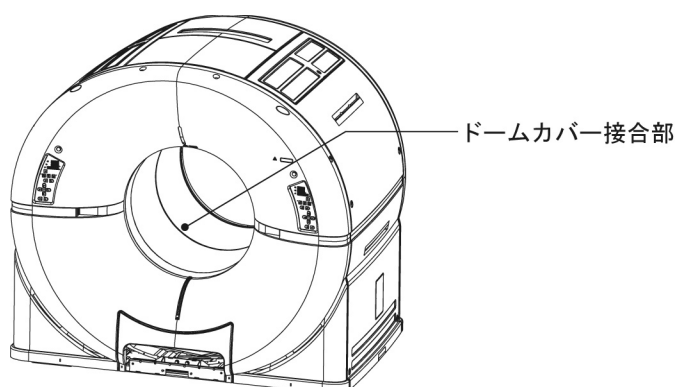
(1) 製品の清掃

中性洗剤を付けた布巾で、汚れを拭き取ってください。

- ・ 中性洗剤は、洗剤メーカーが指定する濃度に薄めてください。
- ・ 布巾は、洗剤が垂れないように固く絞ってください。
- ・ 汚れを拭き取った後、乾いた布巾で乾拭きしてください。

(a) ドームカバー接合部の清掃

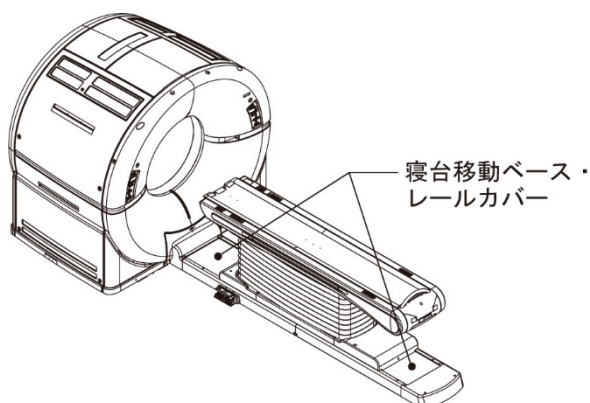
ドームカバー接合部の清掃が必要な場合は、最寄りのサービスセンタまでご連絡ください。



(b) 寝台移動ベース・レールカバーの清掃

寝台が走行する移動ベースのレールカバーに異物がないか確認してください。

万一、異物があった場合は取り除いてください。



(2) 室内の清掃

室内のゴミや塵を、掃除機で吸い取ってください。また、床を水拭きする場合は、水が垂れないように固く絞ったモップや布巾を使用してください。

5.3.2 消毒

装置本体、付属品、オプション機器に血液が付着した場合など、消毒が必要なときには以下の要領で処置してください。

消毒剤の取扱説明書をお読みにになり、使用上の注意と消毒剤の特性を確認したうえ、消毒の専門知識を有する方の指示に従って製品本体、付属品、オプション機器表面の消毒作業を行ってください。

(1) 消毒剤

この装置の消毒に使用できる消毒剤、使用できない消毒剤は以下のとおりです。

＜使用できる消毒剤＞

- ・ 塩化ベンザルコニウム
- ・ 消毒用エタノール（合成ゴムや合成樹脂の消毒には使用しないでください）

＜使用できない消毒剤＞

- ・ 塩素系消毒剤など金属やゴムに対して強い腐食性を持つ消毒剤
- ・ 消毒剤の取扱説明書に、金属・プラスチック・ゴム及び塗装のうち、ひとつでも使用が不適と注意書きのある消毒剤
- ・ ホルマリンガスやスプレータイプのように、製品の内部に入り込むおそれのある消毒剤

(2) 消毒方法

消毒剤を含ませ軽く絞った布巾で、製品の表面を拭いてください。

このとき、製品内部に消毒剤が入らないようにしてください。